

# 2013年3月期 第1四半期決算発表

2012年8月2日

NTN株式会社

- 本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

## I. 2013年3月期 第1四半期の実績

1. 連結損益
2. 地域別売上高
3. 事業形態別売上高・営業利益
4. 事業形態別業績（四半期推移）
5. 営業利益増減
6. 所在地別 売上高・営業利益
  - (1) 日本・米州
  - (2) 欧州・アジア他
7. 棚卸資産
8. 有利子負債
9. 設備投資・減価償却費
10. キャッシュ・フロー

## II. 今後の見通しについて

## 2013年3月期 第1四半期の実績

- ◇売上高**1,389億円**、前年同期比**+6.3%**（為替の影響を除くと**+11.1%**）
  - ・自動車市場向けは、米州・日本で前年の大震災の影響から大幅回復、欧州は経済低迷により減少し、前年同期比**+16.2%**（同**+21.1%**）
  - ・産業機械市場向けは、一部の業種で増加したが、欧州や中国経済の低迷により需要が減少し、前年同期比**▲8.3%**（同**▲4.7%**）
  - ・補修・市販市場向けは、欧州でオートパーツが堅調も、一般機械向けが経済状況の悪化により減少し、前年同期比**▲9.5%**（同**▲4.1%**）
- ◇営業利益**20億円**、前年同期比**▲64.1%**（為替の影響を除くと**▲36.6%**）
  - ・販売増加やコスト削減の効果が見られたものの、為替の影響や米国における一時的な費用などにより減少

## 2013年3月期 上期及び通期見通し

- ◇本年5月に公表した連結業績予想は修正していないが、**第1四半期の進捗及び外部環境の変化**を反映させ、**第2四半期以降の業績予想を見直し予定**

# 2013年3月期 第1四半期の実績

# 1. 連結損益

単位：億円

	前期('12年3月期)					今期	増減
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	1Q 実績	対前年 同期
売上高	1,306	1,355	1,318	1,456	5,435	1,389	83
営業利益 (営業利益率)	55 (4.2%)	52 (3.9%)	34 (2.6%)	66 (4.5%)	207 (3.8%)	20 (1.4%)	△ 35 (△2.8%)
経常利益	47	39	29	72	187	△ 3	△ 50
特別損益	△ 12	△ 9	17	△ 19	△ 23	△ 6	7
当期純利益	20	17	7	15	60	△ 8	△ 29
為替 US\$	81.7	77.9	77.4	79.4	79.1	80.2	△ 1.5
レ - ト EURO	117.4	110.2	104.3	104.1	109.0	102.8	△ 14.5

## 2. 地域別売上高

単位：億円

	前期('12年3月期)				
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績
日 本	408	507	502	517	1,934
米 州	288	294	302	362	1,246
欧 州	378	313	296	343	1,330
ア ジ ア 他	233	240	217	234	924
合 計	1,306	1,355	1,318	1,456	5,435

今期	増減	
1Q 実績	対前年同期	
	量	為替
478	70	0
355	77	△ 10
321	△ 14	△ 43
234	11	△ 9
1,389	145	△ 62

### 3. 事業形態別売上高・営業利益

#### <事業形態別売上高>

単位：億円

	前期('12年3月期)				
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績
自動車	791	843	859	935	3,429
産業機械	269	277	244	276	1,066
補修・市販	246	234	214	245	940
合計	1,306	1,355	1,318	1,456	5,435

今期 1Q 実績	増減	
	対前年同期	
	量	為替
919	167	△ 39
247	△ 13	△ 10
223	△ 10	△ 13
1,389	145	△ 62

#### <事業形態別営業利益>

単位：億円

	前期('12年3月期)				
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績
自動車	△ 9	△ 6	△ 15	△ 2	△ 32
産業機械	11	12	8	17	48
補修・市販	52	46	41	51	191
合計	55	52	34	66	207

今期 1Q 実績	増減	
	対前年同期	
△ 27		△ 19
7		△ 4
40		△ 13
20		△ 35

# 4. 事業形態別業績(四半期推移)

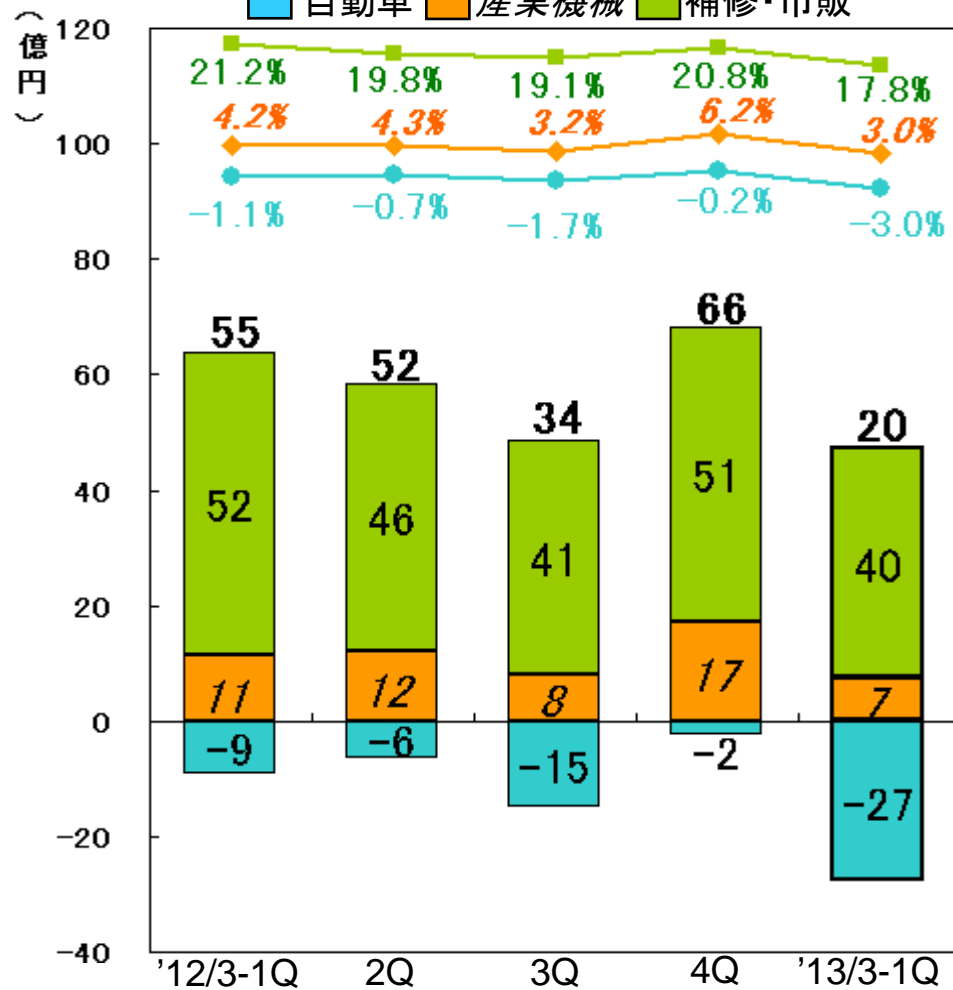
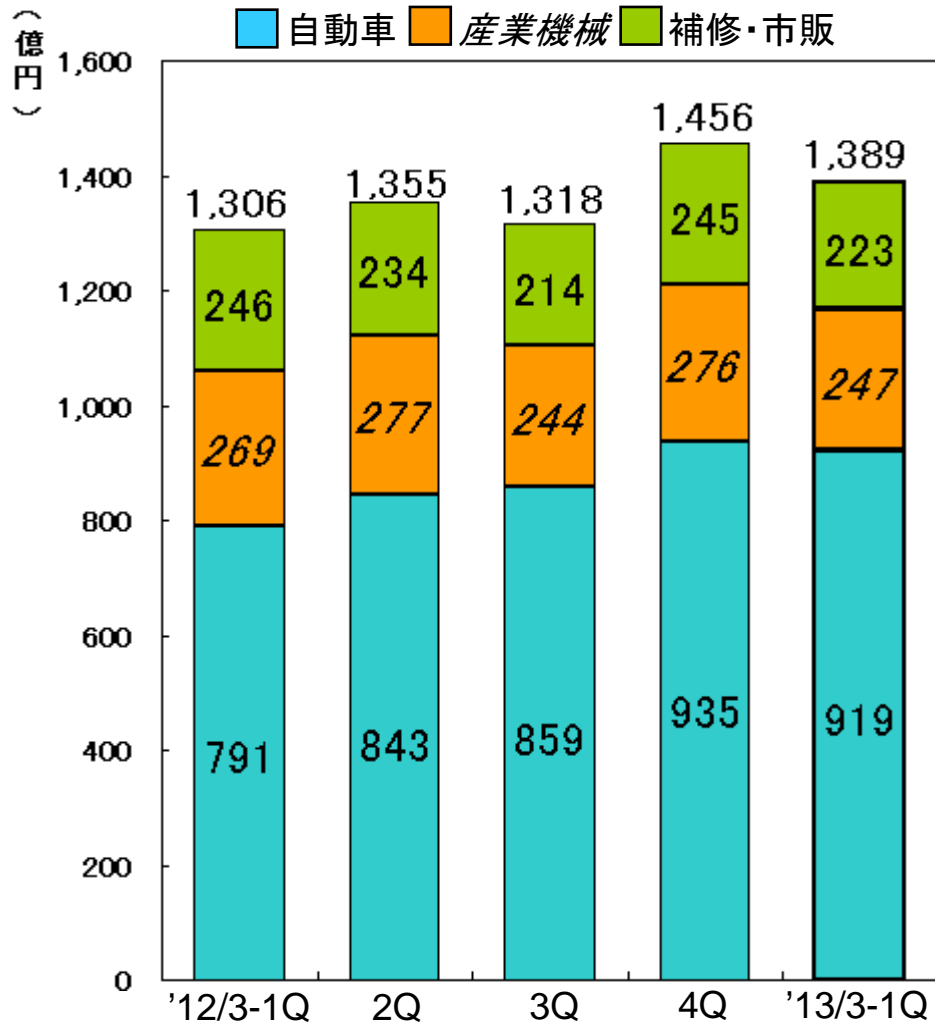
◆4Qに比べ1Qは、欧州経済の低迷などにより、売上高/営業利益ともに減少。

売上高

営業利益/営業利益率

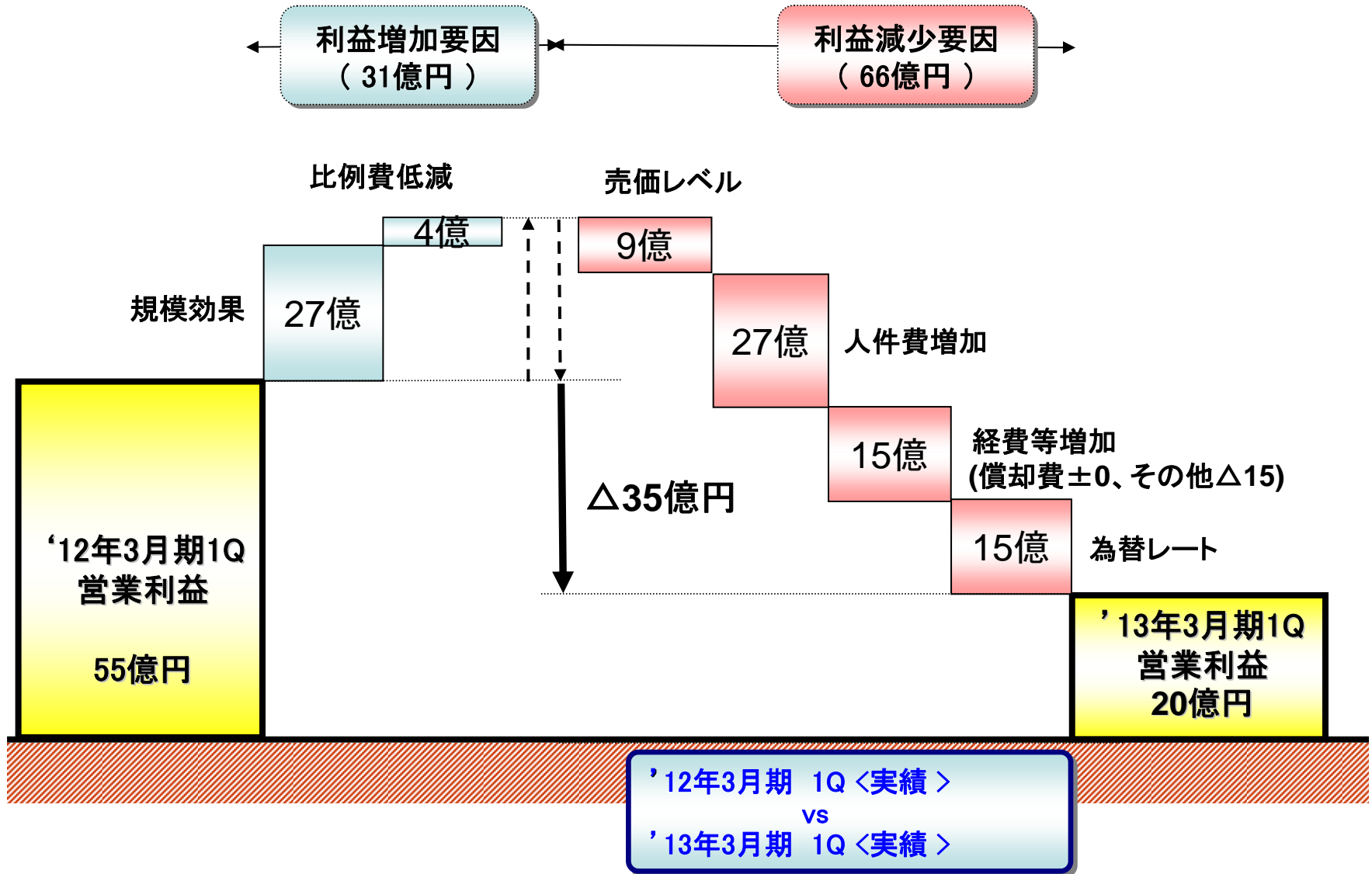
自動車 産業機械 補修・市販

自動車 産業機械 補修・市販





# 5. 営業利益増減（'13年3月期1Q）



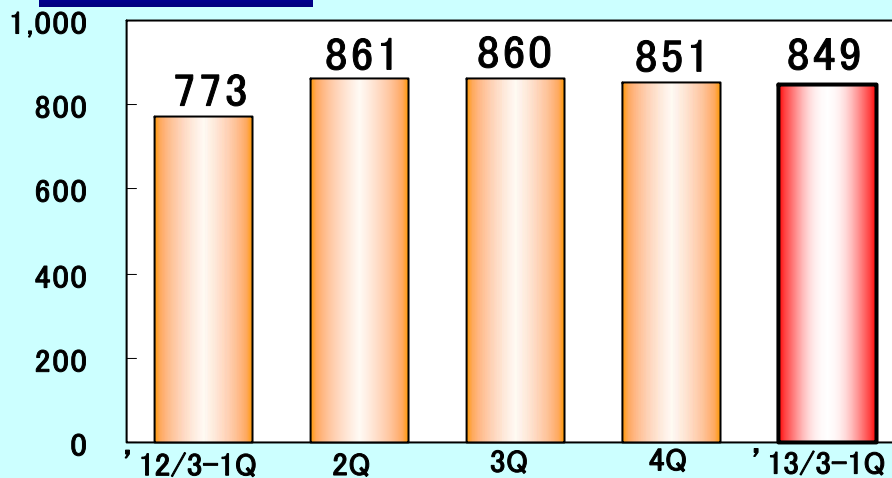
# 6. 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

## 《 日本 》

## 《 米州 》

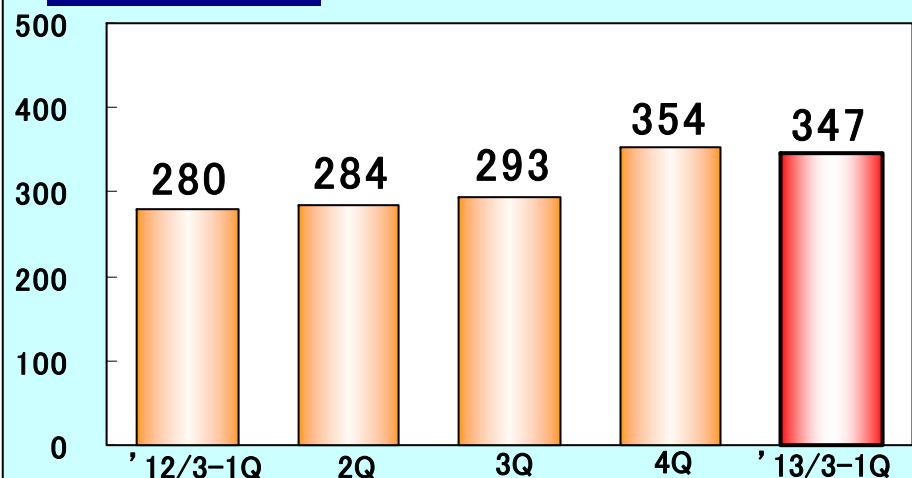
### 売上高

単位：億円

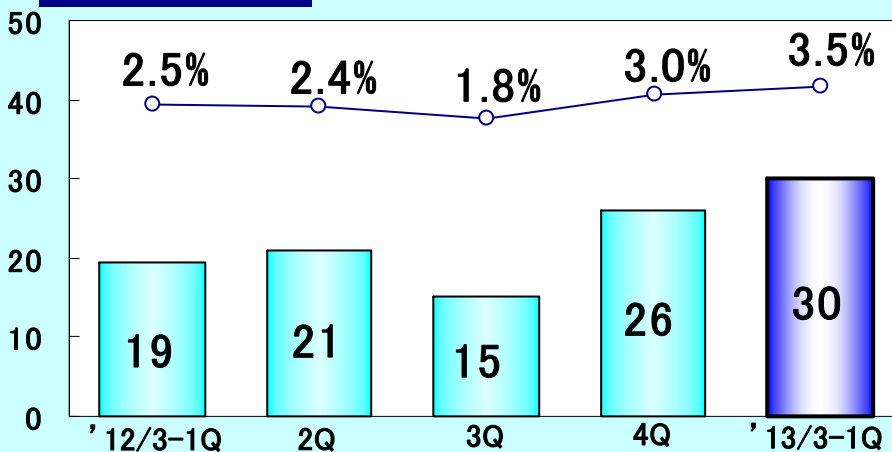


### 売上高

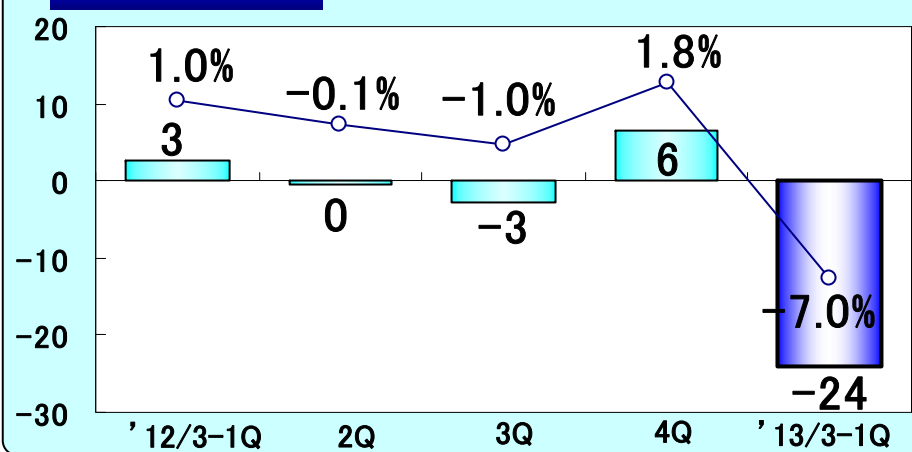
単位：億円



### 営業利益



### 営業利益



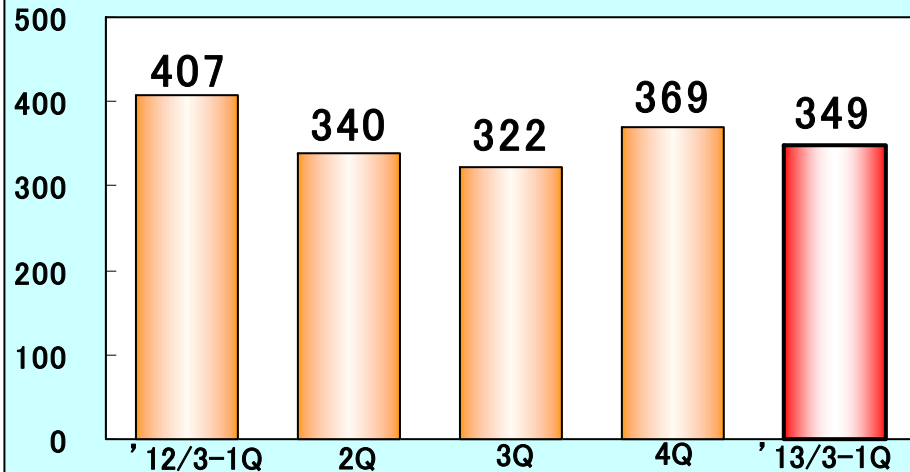
# 6. 所在地別 売上高・営業利益 (欧州・アジア他)

## 《 欧州 》

## 《 アジア他 》

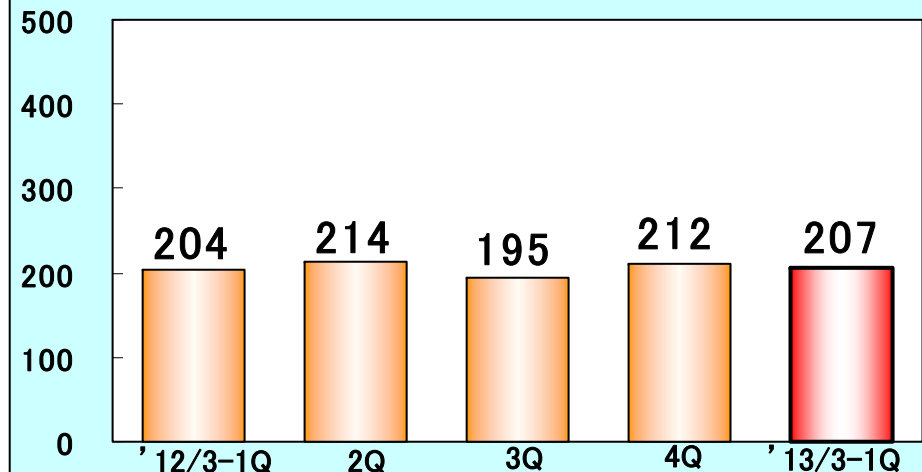
### 売上高

単位: 億円

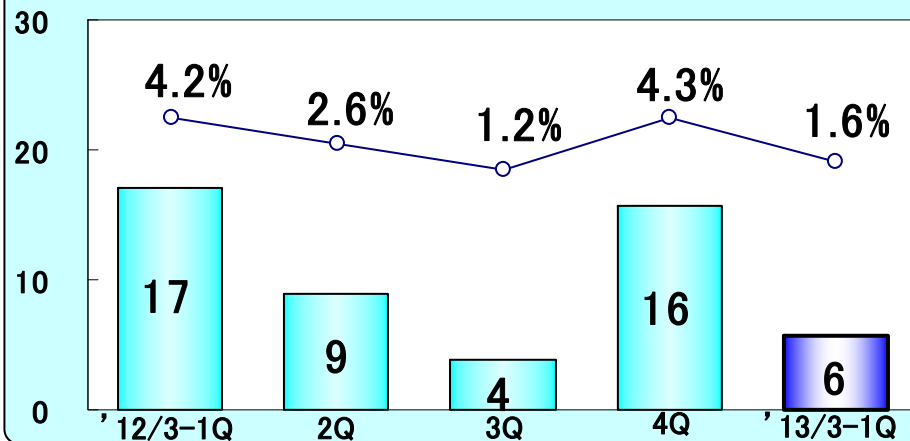


### 売上高

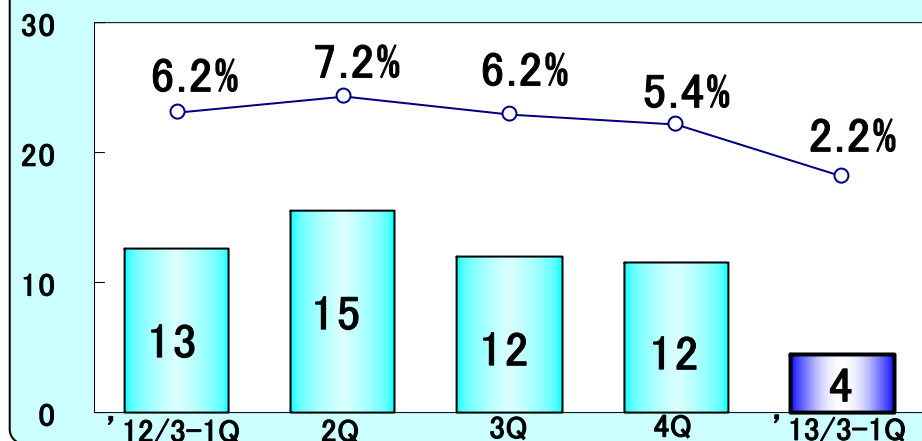
単位: 億円



### 営業利益

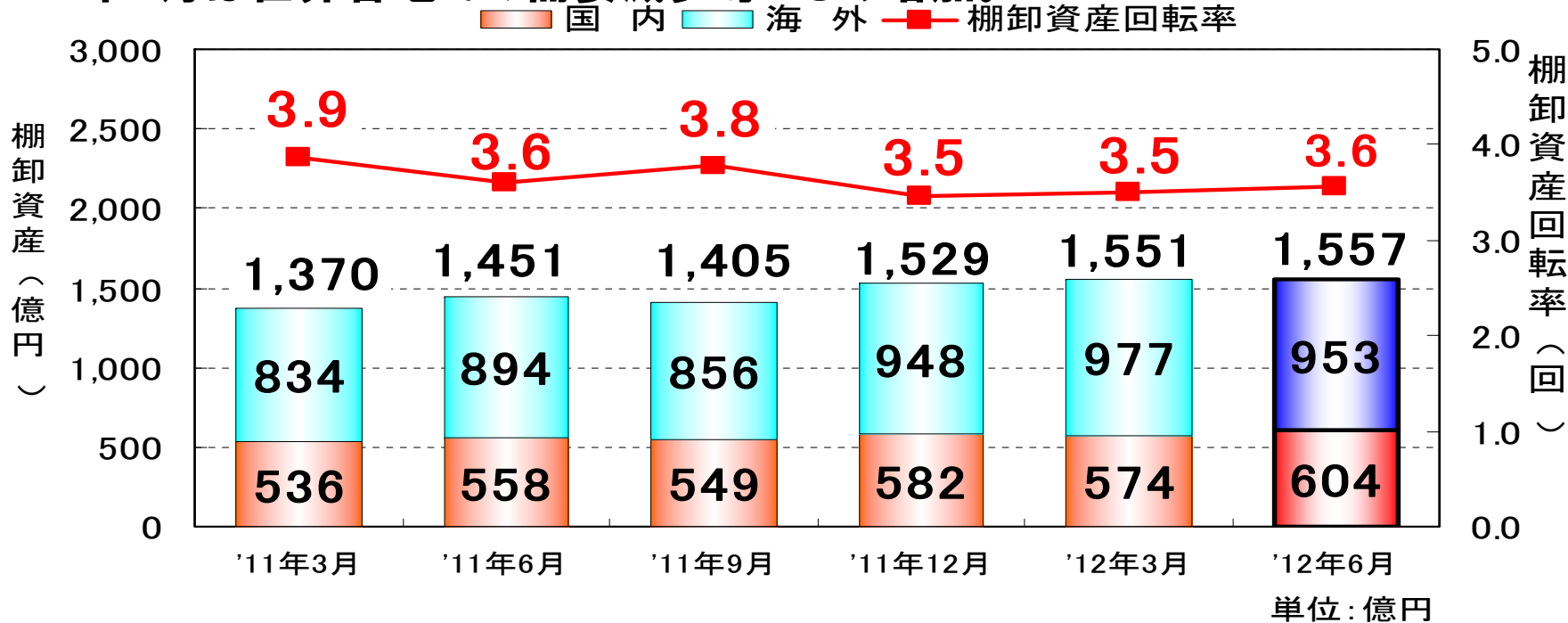


### 営業利益



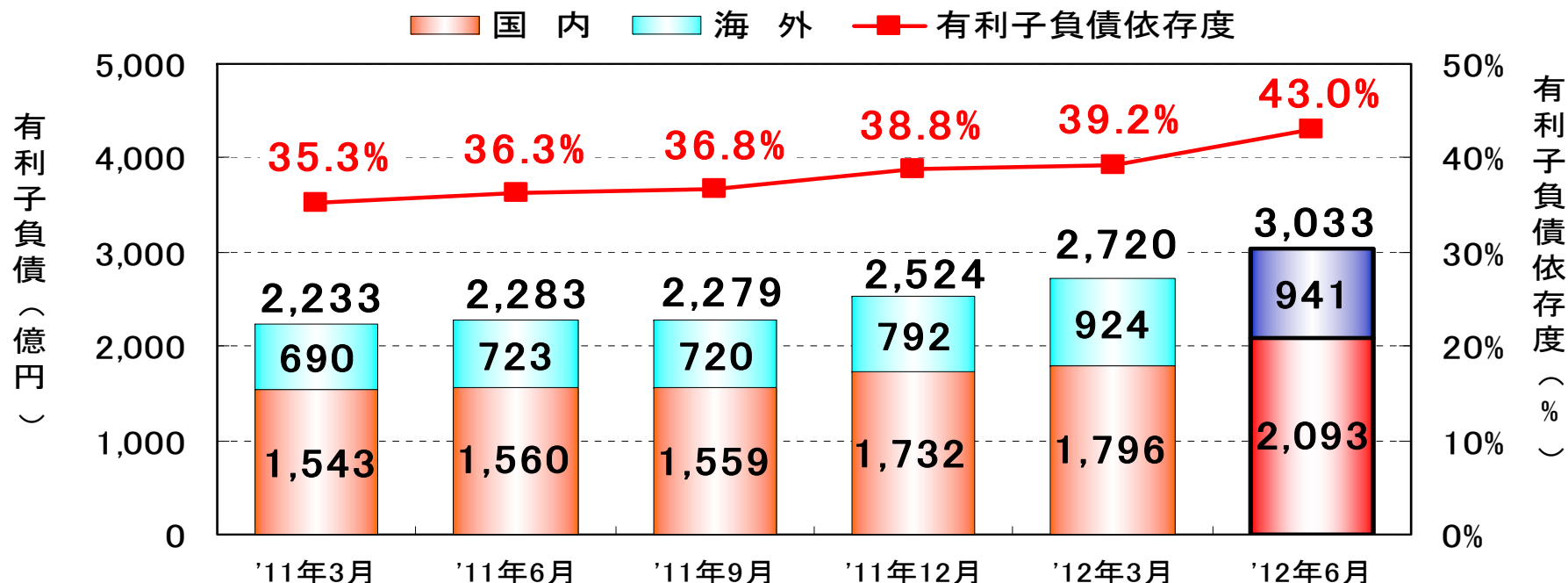
# 7. 棚卸資産

◆ '12年6月は世界各地での需要減少等により増加。



	'11年3月 実績	'11年6月 実績	'11年9月 実績	'11年12月 実績	'12年3月 実績	'12年6月 実績
棚卸資産 (海外)	1,370 (834)	1,451 (894)	1,405 (856)	1,529 (948)	1,551 (977)	1,557 (953)
棚卸資産 (国内)	(536)	(558)	(549)	(582)	(574)	(604)
棚卸資産回転率	3.9回	3.6回	3.8回	3.5回	3.5回	3.6回

# 8. 有利子負債



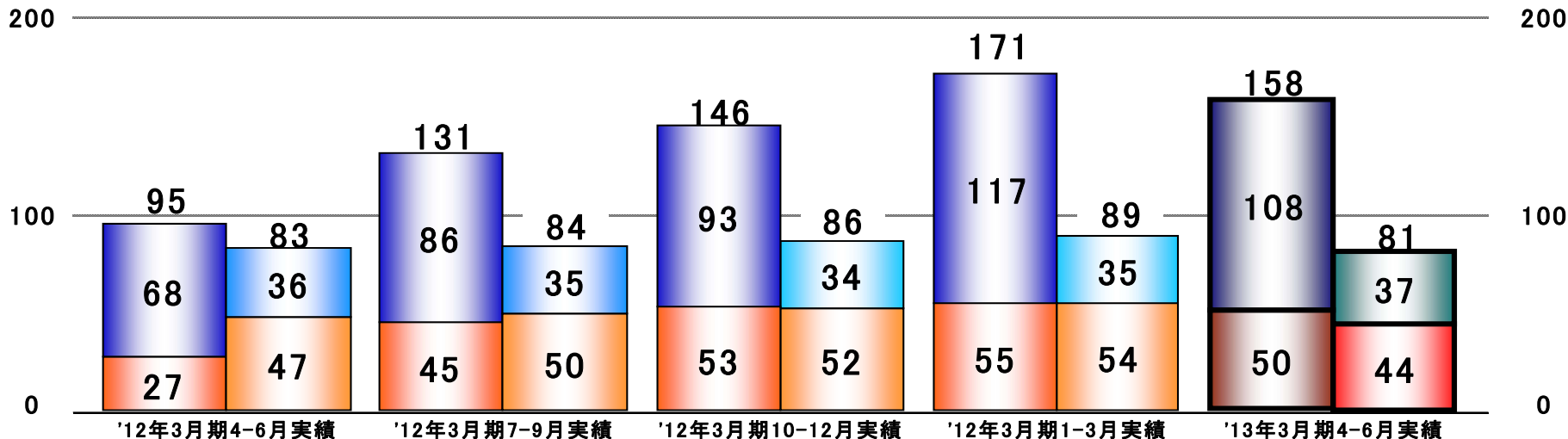
単位: 億円

	'11年3月 実績	'11年6月 実績	'11年9月 実績	'11年12月 実績	'12年3月 実績	'12年6月 実績
有利子負債 (海外)	2,233 (690)	2,283 (723)	2,279 (720)	2,524 (792)	2,720 (924)	3,033 (941)
(国内)	(1,543)	(1,560)	(1,559)	(1,732)	(1,796)	(2,093)
有利子負債依存度	35.3%	36.3%	36.8%	38.8%	39.2%	43.0%

# 9. 設備投資・減価償却費

## ◆ アジア・米州を中心に海外の生産能力を増強。

(単位: 億円) 投資(国内) 投資(海外) 償却(国内) 償却(海外)



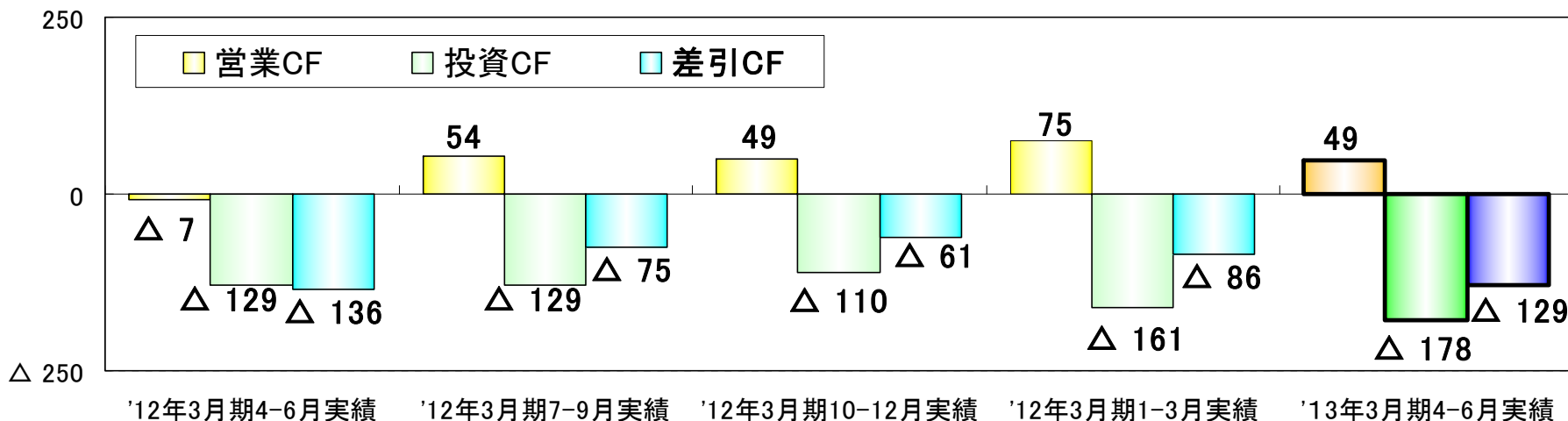
単位: 億円

	'12年3月期 4-6月実績①	'12年3月期 7-9月実績	'12年3月期 10-12月実績	'12年3月期 1-3月実績	'13年3月期 4-6月実績②	②-①
<b>設備投資</b>	95	131	146	171	158	63
(海外)	(68)	(86)	(93)	(117)	(108)	(40)
(国内)	(27)	(45)	(53)	(55)	(50)	(23)
<b>減価償却費</b>	83	84	86	89	81	△2
(海外)	(36)	(35)	(34)	(35)	(37)	(1)
(国内)	(47)	(50)	(52)	(54)	(44)	(△4)

# 10. キャッシュ・フロー

## ◆ 投資CFの増加により、フリーキャッシュフローは△129億円。

(単位:億円)	'12年3月期 4-6月実績①	'12年3月期 7-9月実績	'12年3月期 10-12月実績	'12年3月期 1-3月実績	'13年3月期 4-6月実績②	②-①
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	△7	54	49	75	49	56
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△129	△129	△110	△161	△178	△49
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	38	67	216	152	331	293
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	10	11	△5	△6	25	15
V. 現金及び現金同等物の 増加額	△88	3	151	60	227	315



# 今後の見通しについて



- ◆ **事業環境の変化へ柔軟に対応すると同時に、企業体質の強化を図るため、中期経営計画「躍進2013」の見直しを含め、緊急対策及び抜本的な構造改革を行う。**

## 現状の認識

- **欧州金融危機、中国、インドなど成長市場の伸びの鈍化、長期化する円高など、当社を取り巻く外部環境が、「躍進2013」策定時から急速に変化。**
- **第1四半期では、産業機械、補修・市販向け販売の減少や、米国のコスト増加などにより、上期計画に対する進捗が不十分。**
- **中長期的視点から「現地・現物・現人」はより加速して推進。**
- **短期的課題として、利益率の向上、設備投資抑制や在庫削減などによるキャッシュフロー改善などの企業体質の強化が急務。**

- ◆ 前提条件となる事業環境の想定を変更
- ◆ 利益率向上とキャッシュフロー改善に集中

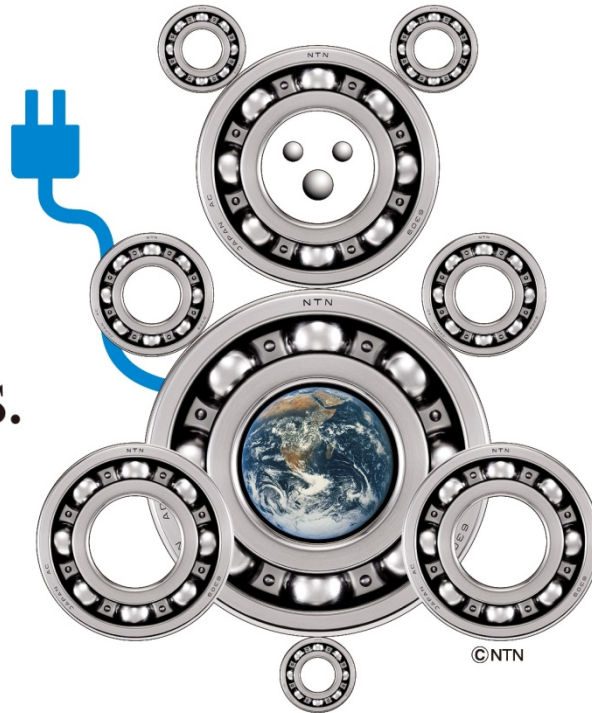
- 現地生産・現地調達によるコスト削減と為替リスク低減
- 成長市場の販売力強化
- 自動車向け商品の利益率改善

成長市場への  
資源集中

- 設備投資を償却費の範囲内に抑制
- 棚卸資産の削減
- グローバル生産体制の再編成
- 本社機能の改革、人件費構造の改革
- グローバル・現地人材の育成 など

改善ではなく  
構造改革

We make  
EV Systems.



For New Technology Network

**NTN**<sup>®</sup>

NTN株式会社  
[www.ntn.co.jp](http://www.ntn.co.jp)